

英語を楽しく

☆すべての英語文は 中学生の時習った五つの文型にあてはまります。

I gave him a book. 4文型ですが、

S V O O

私は 彼女に 本をあたえた。

S O O V

I told him that he should take her home.

S V O

O 私は 彼に 彼女を家まで送っていく (こと) を ように 言った。

S O

O

V

that he should take her home. は これだけで一つの S + V + O 3文型の文をつくっていますし、この3文型がひとまとまりで 「～ということを」と訳す節(目的語)になっています。

英語では、上記の表現の仕方が多く、自然な会話(B)に役立っているように思います。

(A)

a: Today will be fine.

b: How about tomorrow?

a: It will rain.

b: I'm not going to the party

(B)

a: I think today will be fine.

b: I think so too, but how about tomorrow?

a: Let's me see. I'm afraid it will rain.

b: Oh, no. I don't suppose I'm going to the party.

suppose(～と思う)

I think の後は、that が入るのですが that を省略することが多いです。I'm afraid I suppose 等のときも that を省略することもあります。

I think ・ I'm afraid ・ I suppose などの後は少し間をおいて言うといかにも「考えた」・「思った」という感じの表現ができると思いますね。それに that をつけると少し形式張った感じの文になるそうです。



でも、下のような文の時は that を入れないとわかりにくいのではないかと思います。

Tom says to his friend, I always tell him that Mary is a nice lady that he should get marry.

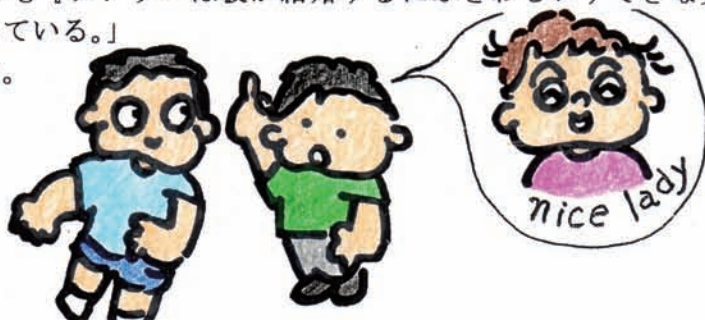
接続詞

関係代名詞

トムは、

「ぼくはいつも『メアリーは彼が結婚するにふさわしいすてきな女性ですよ。』と友達に言っている。」

と言っている。



Yoshi